

# とんぐい村の こみ・すく通信

令和2年11月9日発行 第23号  
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

## みんなの学校応援団 の活動を紹介〈その13〉

### 「柔道の学習」外部指導者を招いて

10月。更別中央中学校では、体育の授業で「武道」の学習が始まりました。更別中央中では1, 2学年で「柔道」に取り組んでいます。

中学校には柔道の学習をする環境がないため、2コマを使って、村の柔剣道場に移動しての学習です。



授業終了時 礼に始まり礼に終わる

体育の先生の外に、外部指導者として、みんなの学校応援団の太田綱基さんに、一緒に指導をしていただきました。



【技のかけ方の指導】

生徒たちは、専門的で手厚い指導の下、意欲的に練習に取り組んでいました。

### 更別の農業を学ぶ JAさらべつを訪れて

10月13日、学校応援団であるJAさらべつのご協力をいただき、更別中央中2年生が社会科で更別の農業を学びました。

選果場でジャガイモを箱詰めするなど機械化されている様子を見せていただき、その後、農協の2階の会議室で話を聞かせていただきました。

今回、担当してくださったのは、営農部長の鈴木克也さんで、農協の施設や更別の農業についての説明後、生徒の質問にも答えさせていただきました。また、仕事をしていくうえで大事なものは人間関係であり、そのため



に人とのコミュニケーションを大事にして

ていってほしいというお話もしていただきました。

生徒は、最後にグループになり「よかった点」「課題」「更なる質問」をまとめました。その中で、生徒からは「農業の詳しいことが理解できてよかった」など多くの感想が出ていました。

### 地域の歴史を探り化石を学ぶ

10月13日、中札内中学校の岡久保幸先生にご来校いただき、更別小6年生に理科の地層についての授業をしていただきました。

岡久先生は、ナウマン象の発掘にも関わるほど地層には詳しい方です。高学年理科の専科担当である鈴木先生が強く要望し、実現したものです。



授業は、「更別村と十勝の歴史を探る」「化石について知る」がテーマでした。

興味深かったのは

- ①人類が住み始めた2万年前の遺跡が残っているのは、北海道で3か所のみで、そのうちのひとつが更別村（勢雄区）である。
- ②約150万年前の十勝は内湾の海となっており、更別は海への入り口であった。ということです。更別村の黒土と赤土の違いなども教えていただき、子どもたちは興味深く話を聞いていました。



【幕別町稲士別川沿いの地層の土に触ってみる】